



広報 かりの

11月

今年もあと2ヶ月となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は元苧宿区長で学校評議員で学校田提供者で米作りの講師をしていただきました長岡新一様よりメッセージをいただきました。

「苧野小学校5年生との米作りの思い出」

長岡 新一

原発事故により避難生活が7年目になりました。毎年4月になると苧野小5年生との稲作りを思い出します。4月下旬の種蒔きに始まり、5月は田植え、6月には草取りの作業がありました。

夏休み前には、子ども達に案山子を作ってもらい、8月には出穂に合わせて案山子立てを行いました。秋になり、10月の稲刈、脱穀、乾燥、粃摺りの後、収穫祭を迎えることができます。多くの保護者の方に脱穀機や乾燥粃摺り等に協力していただいた事に感謝いたします。

私は、苧野小学校の米作りに9年間関わることが出来ました。あと3年頑張れば、孫と一緒に米作りが出来る事を楽しみにしていましたが、原発事故避難によりその夢は叶いませんでした。今は、少しでも早く学校が再開されることを祈っています。



【文責：苧野小学校長 阿部 裕美】